



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

2/23

今回は戦争の中の思いや広島での9日間について
教えていただきありがとうございました。私は、もと
も戦争は絶対やってはならないという事は知っ
ていましたが、こんなに大変で悲さんという事は
知りませんでした。例えば、川は水があるため
安全だと思ひ、飛び込み、死んでしまう人、兵隊に
必死で助けを求めると今では考
えられないようなことが当時の日本では起きて
いたんだなと思ひ心かいたみました。また、原爆が
落ちた時は生きていてもその後の衝撃波で七
くなった人もいるというのを初めて知りました。
最近、戦争に関する映画や本が数多く出ている
ので、そのようなもので戦争の悲さんさについ
て学びたいなと思ひました。また、戦争から
70年以上経っており、戦争について語ること
のできる人は少なくなっています。今回聞いた
話をしっかりとかみしめて、戦争について知
らない次世代の人達に私達が伝えていかね
ければならないと思ひました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

先日は、広島での原爆投下について、たくさんお話しいただき、ありがとうございました。

今まで私は、エノラ・ゲイやリトルボーイの名前は知っていたけれど、どのような物かわかりませんでした。けれど、原爆先生の詳しい説明と名前由来などを聞き、理解できました。

池田義三さんの体験は、とても怖く感じたけれど、二度と戦争をしないようにと改めて思いました。最後に、義三さんが泣きながら体験を話していたビデオを見て、胸が詰まりました。皮膚がはがれてたれ下がっている様子など、想像するととても怖いものもありました。でも、それが戦争のおそろしさを怖くしたと思って、真剣に話を聞くつもりでした。

この体験は決して忘れません。本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゆこう

表

名前は裏面に記入してください

いままでは、原爆と聞くと、たくさんの人
が爆発によって亡くなったという事くらい
しか知らなかったです。

しかし今回の池田さんの授業で、本当に
二度と行ってはならないものだ”と知りま
した。また原爆による後遺症ややけど
で被爆してしまった方々の分まで、つぎの
時代に語りつがなくてはならないという
言葉の意味がより分かったと思います。
また、原爆の熱風で人々の体(器管、水分)
が一しんにして蒸発し、衝撃波でくだけ及の
かたまりとな、しまうことが、一番のおどろきで
した。ほかに、爆心地では、3000°以上の
熱さが降って、一しんにしてヤケドをして
川が蒸発することも始めて知った事でした。
あと、義三さんは、たくさん苦勞して
人々を助けた所がすごいなぁと
思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

今回は、原子爆弾について、原子爆弾を落とされた時の広島の様子について教えていただきありがとうございました。ふだんの社会で勉強したり、自分で調べても分からない内容を今日くわしく知ることができました。原子爆弾が落とされた広島のはがいは、すさまじいものだと知っていたつもりでした。でも、池田義三さんが実際に体験したことを聞き、それを想像したとき、自分が考えていたようななまぬるいものではないんだと思いました。原子爆弾が落とされた後の様子を実際に見てきた池田さんはその様子について悲しんだり苦しんだりすることがたくさんあったんだと分かりました。もし、自分が池田さんの立場だったとしたら、受けとめられないと思います。私は、一度資料館に行ったことがあります。でも、全ての遺品や写真、内容を見ることはできませんでした。その時の現実を見るのがこわくて、逃げてしまっただけです。でも、今日学んだことで、自分は知らないといけないことがたくさんあって、知らないとその時亡くなった方のためにもならないんだと思いました。今日の経験

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

をより多くの人達に伝えていきたいと思っています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、今回の授業で原爆の恐ろしさが改めて分かりました。昔広島に住んでいたのでも少し知っていましたが、くわしい体験談は聞いたことがないので、おどろきがたくさんありました。特に、「リトルボーイ」が爆発したときにできる球は太陽よりも熱いことにはおどろきました。そして音は速い衝撃波のことなど、一瞬で広島と長崎の街を焼きつくす原爆はとても恐ろしいと思いました。また、被爆した人ははたとひふかく、つきはたはぼろぼろになるなど、とてもさみしかったです。ぼくは、たとえ戦争であっても市民をそんな爆弾で殺すのは本当にゆるせないことだと思いました。しかし、アメリカでは日本に原爆を落としたので早く戦争が終わった、という考えもあると聞いたことがあります。アメリカの人にも、そのさみさみや広島市民の声も聞いてほしいと思いました。特に人口の70%が被爆して、その40%である14万人もの人がかせな、たということは、たくさんの方が知ることができると思いました。最後に、今回は授業を通して原爆の恐ろしさなどを教えていただきありがとうございます。これからも原爆のことを忘れずに、子供など後の人にも語りついでいてほしいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

池田 眞徳 先生へ

先日は、「7000℃の少年」原爆について
お知恵をくださってありがとうございました。
今回の授業を受けて戦争の恐ろしさを
改めて知りました。先生の話聞いて
身ふるいとしりはたかたちました。
「二度目がくる」と言われた時の
「ただただこわい」という気持ちか
すごく伝って来ました。原爆の熱くて
体中の水分が一瞬で蒸発して黒い
あしが残るだけ。ということにとてもお
どろきました。広島にある原爆ドーム。
私は最初あのままのサイズかと思ってい
たけれど「広島県産業奨励館」という立派な
建物だったということを知りました。このよ
うなことをふくめ自分はあの時代に生きて
いなくて良かったと思います。最後義三さん
のメッセージを聞いて泣きそうになりました。今日は
本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/23

私は原爆先生の特別授業を受けて、今までよりも深く原爆について考えるきっかけとなりました。先生の話聞いて、原爆のおそろしさ、つらさを新めて実感しました。話の中で特に驚いたのは、広島市に住む人々の被爆率が70%で、死亡率が40%と、とても高かったところです。原爆によって、罪のない大勢の人々の命がうばわれたことを、とてもくやしく思います。私は実際五年生の夏休みに原爆ドームを見に行き、そのくずれ方に心を痛めました。また、私は原爆資料館で、皮ふがたれ下がっている人形を見て、ゾーッとしました。しかし、話を聞いて、本当はもっとずろとひどい姿になっていたことを知りました。そんないかのある原爆がこれから二度と落とされないような平和な時代が来るといっています。私はこれから、原爆で亡くなった人々の思いも胸に、平和へと向かっていきたいです。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/23

私は今日、池田先生に特別授業
をしてもらって改めて原爆は、おそろ
しいなと思います。なぜなら一瞬間
で14万人もの命をうばったからです。
私が特にビックリしたのが「座っ
ていた人があとだけ残って人は蒸発
してしまう」ということです。普通で
は絶対にありえなかったからです。
広島^の歴史を感じたことがなかった
けれどこれで知ることができました。あ
と原爆をおとす都市で、京都がすい
選されていたこともおどろきでした。
今では歴史が感じられる寺、神社
がたくさんあるので今考えるとビック
リします。あと池田先生のお父さん
の活やくにいても感動しました。生臭
くて、吐^き気もするし、けがもする可
能性もあるけどめげずにがんばっ
ていたからです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の話を聞いて、びっくりしました。想像していた物とちがいきすぎていたからです。最初におどろいたのは、トガ1人ではなく、おとろしもうというところ。かけ「たけが」のころ、いるといっものしおとろきました。また、私は、原爆で、多くの人が亡くなったことは知っていました。しかし、死亡率が40%というのには、おどろきました。いっしおとろしもう、たよもあつた人いっしおとろしもうおとろきました。私は、広島や長崎は、大変な場所」と思っていました。しかし、私が思っていた大変と、そのときの大変は、差がありすぎました。そして、136000はっの原子原爆があるということは、これから戦争でっかうかもしおないということ。私はこれから、戦争のおそろしさを他に伝え、戦争がなくなるようにしたいです。安全な国が今よりももっとおえるように、たてほしーいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は今日の授業を受けるまで、戦争や原爆についてある程度知っていると聞いていました。けれど、ビデオを見たり、話を聞くにつれて、教科書や資料からは伝わってこなかった、戦争のおそろしさや怖さを実感しました。私は話を聞いて頭の中で想像するだけだったけど、実際はもっともっとひどかったんだと思うと、何とも言えない気持ちになります。最後に見た池田義三さんのビデオを見て、私はそこで初めて気がついたことがありました。それは、原爆で亡くなった人も、生き残った人もつらい思いをしているということです。生き残った人は、死者を運んだり、あまりの痛さに苦しむ人の姿を次から次へと見たりして、どうせなら自分も死にたいと思った人は多くいたと思います。今でも被爆による後遺症で苦しむ人もたくさんいます。そんな人たちを見ていると、この時代に生まれてきた自分がどれだけ幸せが改めて感じることができました。あたり前の毎日の生活がどれだけめぐまれているか、知ることもできました。戦争のない平和な世の中を築くためには、今日のような原爆の授業を日本だけでなく、世界中で行うことが大切だと思います。戦争はもう二度としてはならないと世界中の子供たちに呼びかけるのです。